

番号	1-3-1	表題	耐スリップマンホール蓋の導入について	
内 容	<p>二輪車転倒防止事故対策の一環として、当課では平成 29 年度に既存マンホール蓋のすべり抵抗性能の調査に着手した。検討にあたっては、マンホール蓋のすべり抵抗値に関する公の基準がないため、各種文献を参考にして当局独自の開発目標を設定する必要があった。また、すべり抵抗性能の向上に加え、既存マンホール蓋の下地模様（ソメイヨシノ、イチヨウ、ユリカモメ）と機能（人孔番号、荷重表記、下水種別、ガス孔）を活かすとともに下地模様の視認性を確保することを前提とした。</p> <p>その後、3 か年に亘り様々な検討を重ねた結果、令和元年度にすべり止め加工を施した内径 60 cm 耐スリップマンホール蓋を開発し、令和 4 年度以降、標準蓋として導入することが決定した。</p> <p>本稿では、耐スリップマンホール蓋を開発する上での課題や抵抗値の設定、試作品を用いた性能評価手法について報告するものである。</p>			
キーワード	マンホール蓋、耐スリップマンホール蓋、すべり抵抗性能、すべり抵抗値			
処理区名		位置区分	管きよ	
職種区分	土木	施策区分		
状態区分	調査 研究、維持管理	新規性	新規知見あり	
実施年度	平成 29 年度～令和元年度	全体期間	平成 29 年度～令和 2 年度	
担当部署	施設管理部 管路管理課 調整担当			
発 表 履 歴	局内	令和 2 年度 設計・工事事例発表会		
	局外			
調査方法	委託調査			
関連情報	経営計画 2021			